

# 大洲市 全図

【広域図No.1カット図】  
【津波浸水想定図カット図①】

【津波浸水想定図カット図②】

【津波浸水想定図】

【津波浸水想定図カット図③】

【津波浸水想定図カット図④】

【広域図No.2】

【浸水想定(想定最大規模降雨)1】

【広域図No.4】

【詳細図No.10】

【詳細図No.11】

【広域図No.5】

【広域図No.6】

【広域図No.7】

【広域図No.9】

【広域図No.8】

【浸水想定(想定最大規模降雨)2】

### 凡例の説明

**急傾斜地崩壊危険箇所**  
傾斜の角度が30度以上で高さ5m以上の「かけ(斜面)」において、大雨や長雨などにより雨水が地面にしみこみ、緩んだ斜面が突然崩れ落ちるおそれのある箇所

**土石流危険渓流**  
山や谷(渓流)の土、石、木などが、大雨などによる水と一緒に、すごい勢いで流れ下るおそれのある箇所

**地すべり危険箇所**  
雨や雪どけ水が地下にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面(斜面)が広い範囲にわたってゆっくりと動き出すおそれのある箇所

**堤防決壊による  
予想浸水深**  
0.0m以上～1.0未満  
1.0m以上～2.0未満  
2.0m以上～5.0未満  
5.0m以上

浸水想定は、概ね100年に一回程度の頻度で起こる大雨(飯川流域で2日間の総雨量340mmを想定)により、飯川の増水による氾濫や堤防決壊を想定したものです。

**●浸水の深さの目安**

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1の地形図、2.5万分1の地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平26情使、第244-A273号)  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地形図(50mメッシュ(標高)を使用した。(承認番号 平26情使、第242-A181号))を使用した。